

執筆者紹介

立命館大学教授 大山 敷太郎
 立命館大学教授 阿部 矢二
 立命館大学教授 武藤 守一
 立命館大学教授 淡川 康一
 立命館大学専任講師 浜崎 正規

立命館大学経済学会委員

井上 巖次郎
 淡川 康一
 高橋 良三
 箕浦 格良
 山田 邦臣
 高尾 忠男
 浜崎 正規

あとがき

今年の暑さはまた殊のほかであった。掲載の諸篇はそれぞれ七月の酷暑とたたかひながらものされた労作である。休暇中は研究調査の旅に出られた方もあれば、次号に予定されている木村教授の還暦祝賀論集のための執筆に汗を流している方もある。休みももうあと何程もない昨今、朝夕ようやく涼しさが感じられるようになった。学間に運動に秋の活躍期が近づいてきたようである。われわれの学会活動もこらで今一度拍車を入れたいところだ。色黒黒と元氣そうな学生諸君と相まみえる日をま近にして、秋の諸行事のプログラムなど、そこはかとなく思いかべながら後記のペンを執っている、外では久久のおしめりで雨滴の音が初秋の夜更けの静けさを強調している。

なお、本号に「中国の人民銀行券」について執筆された武藤教授は、この度中国よりわが国六大都市の招待に京都市から参加されて、その國慶節に参列され、各都市を見学してこられることになった由である。

(T)

☆毎々機関誌を御恵授下さいまして洵にありがとうございます。交換誌の御送附先は必ず左記に願ひ上げます。念のため。

京都市上京区広小路通寺町東入ル
 立命館大学経済学部研究室 宛

振替口座番号 京都二三〇六八番

京都市西陣局区内広小路寺町東入
 立命館大学経済学会 宛

昭和三十年八月二十日印刷
 昭和三十年八月二十五日発行

定価 百二拾円

立命館経済学 第四巻・第三号

編集者 立命館大学経済学会

(高橋良三)

印刷者 垣本剛一

立命館大学内
 京都市上京区広小路通寺町東入ル

発行所 立命館大学人文科学研究所

京都市左京区京都大学北門前

印刷所 株式会社 雄渾社印刷部

THE RITUMEIKAN ECONOMIC REVIEW

The Bi-monthly Journal of Ritumeikan University

Vol. IV

August 1955

No. 3

Contents

Treatises :

Sikitarô Ôyama : The Disintegrating Process of the Boss
Rule in Our Coal Mining Labour..... 1

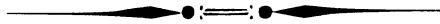
Yaji Abe : A Note on Materialism. 67

Material :

Morikazu Mutô : The Substance and Function of
China People's Bank Note..... 86

Kôiti Awakawa : Anonymity in Mass Communication..... 120

Masaki Hamasaki : A Critique on T.B. Veblen's
Methodology. 141



The Ritumeikan University Economic Society

KYOTO, JAPAN